

2016年5月26日

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、成田空港では お客様用トイレの全面リニューアル！ ～ユニバーサルデザイン化を推進～

成田空港では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、また、我が国の空の玄関口として今後さらに多くのお客様をお迎えしていくため、全てのお客様がストレスなく快適に空港をご利用いただけるよう、空港内トイレを全面リニューアルすると共に、ユニバーサルデザイン（※以下「UD」）の充実に取り組んでまいります。

その取組みの一環として、今後、ターミナル内の全てのお客様用トイレを順次リニューアルし、①トイレの場所や男性用・女性用の区別を音声によってご案内する「音声案内装置」、②緊急事態の発生を光によって認識することができる「フラッシュライト」、③お身体を支えやすい「L型手すり」の設置など、最新のUDを導入してまいります。



（L型手すりのイメージ）

特に、お客様の主要動線上でご利用の多いトイレについては、世界最先端のトイレ機器のほか、大きな手荷物を一緒に持ち込むことができる広いブース、利用しやすいパウダースペースを設けた「デザイントイレ」に一新いたします。これにより、トイレを利用されるお客様の快適性や利便性を追求し、日本が世界に誇るトイレ文化を海外に向けて積極的に発信してまいります。

当社は、お客様に選ばれる世界最高水準の空港をめざして取り組んでまいります。さらに成長を続ける成田空港にご期待ください。



（デザイントイレの内観イメージ）



【リニューアルの概要】

◆主な内容

- 全てのトイレに音声案内、フラッシュライト、L型手すり等のUDの導入
- お客様の主要動線上のトイレについては、世界最先端のトイレ機器等を導入したデザイントイレとして整備（第1ターミナル:箇所数は精査中 第2ターミナル:5箇所）
- 全ての便器の温水洗浄便座化、和式便器の洋式化
- 壁や天井等の内装リニューアル

以上は、第1ターミナル・第2ターミナル共通。第3ターミナルでは、温水洗浄便座等は導入済みであるため、UDの導入を優先実施

◆リニューアル対象となるトイレ箇所数

- 各ターミナル内におけるNAA管轄の全てのお客様用トイレ
第1ターミナル 69箇所
第2ターミナル 66箇所
第3ターミナル 13箇所
（合計 148箇所）

◆工事の期間(第2ターミナルから着手し、工事終了次第順次オープン)

- 第1ターミナル 2017年冬頃～2020年3月
- 第2ターミナル 2016年冬頃～2018年9月
- 第3ターミナル 2017年冬頃～2020年3月

◆投資規模

総額50億円規模となる見込み

※ユニバーサルデザイン(UD)とは…施設や製品等について、新しいバリアが生じないよう誰にとっても利用しやすくデザインするという考え方

(内閣府「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱」より)